

せんがんざわ

# 千貫沢の歴史と自然に触れ合おう

## 遊歩道を仮整備しました

川内南キャンパスの北側を流れている沢は、江戸時代から「千貫沢」と呼ばれてきました。この千貫沢は、足を踏み入れる方がほとんど無い、キャンパスにあっても自然の趣が強い場所です。

川内南キャンパスに入っていく道路が千貫沢を渡るところは、江戸時代には沢をせき止めた土橋でした。この土橋の東側に築かれた石垣が、今も残っています。石垣より下流側は、渓谷の趣のある沢となっており、周囲の樹木には江戸時代から生育していたと考えられる大木も含まれています。

この千貫沢に沿って歩くことができるように、遊歩道を仮整備しました。萩ホール北側を通る「三太郎の小径」と合わせて、自然と歴史の趣にあふれた、千貫沢を散策してみたいはいかがでしょうか。



東北大学  
川内北キャンパス

グラウンド

国際センター駅

とちのき並木

千貫橋水落石垣

遊歩道

弓道場

江戸時代から  
続く森

《お気を付けてください》

- やや急な上り下りもあります
- 場所・天候によっては足もとが悪くなっています
- 枯れ枝が落下する可能性があります

扇坂

東北大学  
附属図書館

三太郎の小径

萩ホール

※遊歩道の維持・整備を手伝っていただきながら楽しむ、ボランティアを募集しています。

ご希望の方はこちらに連絡を。 [senganzawa@museum.tohoku.ac.jp](mailto:senganzawa@museum.tohoku.ac.jp)